

会 議 録

平成19年4月6日調製

審議会等名	平成18年度 第3回社会教育委員会議		
公開の別	全部公開		
開催日時	平成19年3月26日(月) 午後3時30分～4時55分		
開催場所	三条市中央公民館 講義室	傍聴者	4名
出席者氏名	社会教育委員 広部隆司委員 丸山照子委員 小菅 信委員		
	広川邦夫委員 樋口一三委員 佐藤洋一委員		
	中村保夫委員 橘 耕司委員 横山正美委員		
	阿部凉子委員 安藤正之委員 今井榮作委員		
	教育委員会 松永教育長 金子生涯学習課長		
	原生涯学習課課長補佐 近藤生涯学習係長 遠山主事		
	(欠席者： 岡田竜一委員 兼古和枝委員)		
議 題	(1) 地域の教育力再生、学校・地域・家庭との連携の方策についての 会議のまとめについて		
	(2) 平成18年度生涯学習事業の実績について		
	(3) 平成19年度生涯学習事業の計画(案)について		
	その他 三条市生涯学習推進計画について		
発言内容等			
金子課長	定刻になりましたので、これより会議に入りたいと思います。広川議長より進行をお願いいたします。		
広川議長	<開会のあいさつ>		
松永教育長	<教育長あいさつ>		
広川議長	それでは、議題に入ります。議題(1)について、事務局より説明をお願いします。		
金子課長	それでは、先日、主な委員さんからお集まりいただいて作成しましたまとめの案につきまして、担当係長からご説明させていただきます。		
近藤係長	<議題(1)について資料「地域の教育力再生 ～学校・地域・家庭との連携方策について～(会議のまとめ)(案)」に基づき説明>		
広川議長	それでは、まず資料内の「1 現状・課題」、「2 国の取組」、「3 三条		

	市内での取組」について、ご確認等ありましたら、お願いいたします。
阿部委員	良くまとめてあると思います。ところで、このまとめは、どういう意味を持つのでしょうか。どのように活用するのでしょうか。
金子課長	提言をいただいたということで、参考にさせていただきながら、事業等を行ってまいります。
広川議長	課長さんがおっしゃられるように提言、すなわち指針となるものだと思います。なお、今回の会議の意見も考慮し、必要な修正を事務局とさせていただき予定でございます。
阿部委員	単なるまとめではもったいなく、実施してこそ意味があると思います。有効に利用してほしいと思います。
広川議長	この提言の内容が19年度以降の事業等に反映されることと思います。
橘副議長	教育委員会で適切に扱っていただけるとは思いますし、19年度事業について、提言が参考になるかと思えます。
佐藤委員	合併後、初の社会教育委員会ということで、どういう方向に進んでいくのか不安がありました。次期社会教育委員さんへの指針となるものができあがったのではないかと思います。
広川議長	おっしゃるとおり、来年度以降につながっていくまとめだと思います。よろしいでしょうか。それでは、資料内「4 会議のまとめ」について、ご意見がありましたら、お願いいたします。
今井委員	学校・家庭・地域の連携が大事かと思えます。ところで、放課後子どもプランについては、学校側はどのように受け止められているのでしょうか。
広川議長	今のお話について、広部委員さんいかがでしょうか。
広部委員	学校の受け止め方についてですが、関心はあるかと思えますが、各学校によって状況は異なると思います。なお、今は「子どもの安全」についてが、一番の関心事ではないかと思えます。子どものための見守り活動等、具体的な活動が、結果的に地域づくりになり、ひいては、学校、家庭、地域の連携につながっていくのではないのでしょうか。
広川議長	課長さんいかがでしょうか。
金子課長	広部委員さんがおっしゃられるように、地域と学校の連携の方策は、放課後子どもプランや子どもの見守り以外にも、青少年育成会、非行防止の活動ですが、そういったものもあるかと思えます。さらに、ゲストティーチャーや図書館ボランティア等もあるかと思えます。
広川議長	他にご意見がございましたら、お願いいたします。
小菅委員	5P「(3) 社会教育委員としての関わりについて」は、自己反省の意味も含め、この程度でよいのかなといった気がしてしまいます。
広川議長	社会教育委員については、簡単にまとめてありますが、いつでも協力でき

	<p>るよう意識を持っておきましょうと言う、大切なことを表していると思います。</p>
橋副議長	<p>社会教育委員は、それぞれの立場の代表として参集しているわけですから、それぞれの社会教育に対する考えを述べ合い、社会教育のあるべき方向性を示すことが大切かと思えます。また、今回は18年度実施事業の資料がありますから、それを確認し意見することで、翌年以降の事業を改善していくことも結構かと思えます。</p>
中村委員	<p>5、6年前にPTAをしておりましたが、地域、家庭と学校の連携については、会議ばかりで具体的なものがありませんでした。そういった時期を経て、ようやく具体的なかたちになった事業ですから、ぜひ全市的に展開できると結構かと思えます。</p>
丸山委員	<p>今回、初めて社会教育委員をさせていただきましたが、先日、月岡小学校つくしっ子クラブに参加させていただきました。社会教育委員としてどうすべきかという疑問のお話がありましたが、地域でそのような活動があった場合に、参加することも一つではないかと思えます。地域の交流のあるべき姿、裏方の皆さんのがんばり等、勉強になりました。また、今回のまとめの中にもありますが、PTAの参加が少ないようで、今後の課題ではないでしょうか。</p>
広川議長	<p>活動を通してのご意見でした。</p>
横山委員	<p>社会教育委員としての関わり方として、私としては、委員になったからといって無理なことはせず、できることをしたいと思っています。例えば、自分の健康づくりのためとしても、お手伝いができるというような方は、参加されれば良いのではないかと思います。また、今年、国では、放課後事業について、全小学校区で実施できるような予算づけがされたというような話も聞いておりますので、19年度、三条市では7学区展開されるようですが、24学区すべてで展開されるとよいかと思えます。</p>
広川議長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p>
樋口委員	<p>子どもの居場所のための事業ですから、子どもの気持ちや立場、実態等を大事にしながら行っていくと、さらに良いのではないかと思います。</p>
広川議長	<p>よろしいでしょうか。それでは、今回のご意見を踏まえつつ、事務局と私とで調整させていただき、最終決定したいと思います。ご了解いただけますでしょうか。ありがとうございます。ご了解いただいたものと認めます。続きまして、議題(2)、(3)について説明をお願いいたします。</p>
金子課長	<p><議題(2)、(3)について説明></p>
阿部委員	<p>今年度の父親の家庭教育学級は良いと思います。また、思春期の親のための子育て講座について、19年度はありますでしょうか。あと、講師はどん</p>

	な方でしょうか。学校教育のことよりも、親の、家庭の教育力を重要視する ような講師を選出されると結構かと思います。あと、放課後子ども教室に ついては、どのようにして進めていくのでしょうか。
金子課長	思春期の親のための子育て講座について、平成19年度は、公民館で行う 予定であります。また、講師の方については、資料に記載がございます。あ と、放課後子ども教室については、市の方針で、児童クラブのない学校につ いて、行うこととしております。
今井委員	改築後の下田公民館の概要についてお聞かせください。
金子課長	場所は現在の保健センター向いになります。図書館分館、お話の部屋、 事務室等が1階にあり、2階には、120人程度収容の多目的室、会議室 和室を設置し、述べ床面積が830㎡程度となり、今の公民館よりも若干広 くなります。
広川議長	それでは、最後に、生涯学習推進計画についてご説明願います。
金子課長	これについては、社会教育委員さんからは、佐藤委員さんから参加してい ただき、ご意見をいただいております。また、総合計画策定の際には、阿部 委員さんから、社会教育の項目を設けるべきとのご意見をいただきましたの で、具体化しております。
広川議長	ありがとうございました。繰り返しになりますが、(1)の議題について は、ご意見を踏まえ、事務局と調整させていただきます。本当に、ありがと うございました。